



長門の話題 Topics

アウトドアリズムから考える地域活性化 (株)モンベルのノウハウを学ぶ

7月6日(土)、講演会「アウトドアリズムから考える地域活性化」自然を生かした長門の未来ジャパンエコトラック」がラポールゆやで開催されました。
長門市は平成29年7月に、アウトドアメーカーの株式会社モンベルと包括連携協定を結んでおり、同社のノウハウ

を活かした地域活性化に取り組んでいます。
講演では、同社の竹山史朗常務取締役広報本部長が登場。全国で展開するシートウサミットやジャパンエコトラックの事例、アウトドアリズムのノウハウをどう地域に結びつけるかを写真などをを使って説明しました。



▲「長門市は資源に恵まれており、ポテンシャルは高い」と語る竹山常務



▲市民やアウトドア愛好者ら約150人が出席

劇的な試合展開に沸く ジャパンラグビートップリーグカップ2019第3節

7月6日(土)、俵山スパスタジアムでジャパンラグビートップリーグカップが開催され、市内外から800人が集まりました。「マツダブルーズーマーズ」と「豊田自動織機シャトルズ」が対戦。終了間際にトライ&ゴールを決めた「豊田自動織機シャトルズ」が劇的な逆転勝利を飾りました。



▲見応えのある試合にサポーターから歓声

長門ライオンズクラブ事業による交換留学生

フィンランドからこんにちは

7月16日(火)、長門ライオンズクラブの青少年交換事業でフィンランドから来日しているエッシン・トゥルペイネンさんが市役所を訪れました。エッシンさんは市内でホームステイしながら8月4日(日)まで滞在する予定で、その間、観光名所を回ったり、イベントに参加しながら日本の文化や習慣を体験します。



▲「千畳敷から見る景色が美しい」と語るエッシンさん

長門の People

2人が初めて企画した展覧会「仙崎八景」

盛澤 香乃さん
宇野 智香さん

(金子みすゞ記念館
学芸員)



▲左から宇野智香さん、盛澤香乃さん

旬な人

今年4月に県外から移住し、金子みすゞ記念館の学芸員として勤務する盛澤香乃さんと宇野智香さんの2人。
「みすゞさんは小学校の教科書で習ってから、自分で詩を探したりしていた」と宇野さん。盛澤さんは「小学校のころ、祖父にみすゞさんの童謡集を読み聞かせてもらって、私が一番最初に知った詩人です」と2人も幼いころから金子みすゞさんの詩に触れていたそうです。

今後の抱負を聞くと「みすゞさんの詩を活かして、一人ひとりに合った詩を探す手助けをしていきたい」と宇野さん。盛澤さんは「子どもなど幅広い年齢層に楽しんでもらえる企画をしたい」と意気込みを語りました。
2人が初めて企画した展覧会「仙崎八景」が8月1日(木)から始まり、学芸員として、しっかり詩を読み込んだ2人による説明書きなども含めて、ぜひご覧ください。



▲展示物の管理など、学芸員としての仕事を実践中

美しい海岸線を次世代に引き継ぐ

長門市海岸清掃の日

7月7日(日)、市内11カ所で一斉に海岸清掃が行われ、合わせて930人が清掃活動に参加しました。参加者は、それぞれの会場で砂浜に打ち上げられたプラスチックや漁具などのごみを拾って歩きました。
この日は、可燃ゴミと不燃ゴミの合計6,427kgが回収されました。



▲砂浜に打ち上げられた漂着ごみなどを回収

古式捕鯨の歴史と文化を伝える「くじら資料館」

入館者が50万人を突破

7月14日(日)、くじら資料館の入館者が平成5年の開館以来、50万人を突破しました。50万人目となったのは、フランス在住の江頭美香さん親子で、「50万人目の節目となり、光栄です。海外在住ですが、改めて日本の捕鯨文化を考えるきっかけにしたい」と感想を話しました。



▲日本に一時帰省した際に訪問